

分科会 居たいまち・帰るまち
(20日 15:00 ~ 於:明秀館/元林院町)

<分科会 >

居たいまち・帰るまち

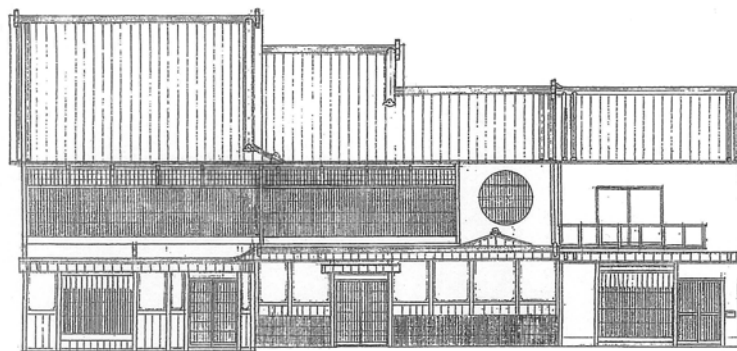
～学生時代にこのまちに出会って～

奈良まちづくりセンター ならまち楽生座(がくせいざ)

<分科会の開催日時・場所>

開催日時 2004年11月20日(土) 午後3:00～午後5:00

開催場所 明秀館 (奈良市元林院町)



明秀館 南立面図

明治20年代に建造された旧料理屋。猿沢の池の興福寺五重塔を望むことの出来る、元林院町の中の趣ある建物です。

<分科会の背景と目的>

このたび、私たち楽生座は「賑・ならまち25」事業の一環として「奈良町フォーラム」を開催することになりました。分科会では楽生座が学生にとって「居たいまち 帰るまち」というテーマでワークショップ形式の討論会を計画しています。

ゲストとして楽生座以外にもまちづくりに関わっている学生グループをお招きし、活動報告のあと、学生の生まれ育ったまちへの思いと現在活動しているまちへの思いの違い、またその理由等について議論します。

議論を通じて、学生がまちづくりにかかわっていくことの意義について、学生自身や住民の皆さん、そしてまちづくりに関わっておられるいろんな方々と語り合えることを期待しています。

<分科会の内容>

- ・3～5団体の学生グループの報告(1団体約10分)
- ・ワークショップ(約1時間)

私たちにとって、今居るまちとはどのような意味をもっているのでしょうか？

生まれ故郷としてのまちや学生時代に出会ったまち、それぞれのまちに対する思いがあると思いますが、それがどういう風に今の活動に繋がっているのでしょうか？

それらを見つめることから、学生がまちづくりに参加する意味を考えていきたいと思います。

分科会 居たいまち・帰るまち
(20日 15:00 ~ 於:明秀館/元林院町)

【楽生座プロフィール】

私たちは、奈良町やそのまちづくりに興味を持ち、もっと深く知りたいという共通の思いを持って奈良町物語館に昨年の8月頃から自然と集まってできた学生団体です。



3月 「奈良町短期留学」
(環境診断マップ調査)
5月～ 毎月1回
「楽生座♪ちょっとよって講」
8月 たけとり物語
などのイベントの企画・開催を通して、奈良町内外の方との交流を図り、情報交換をしています。
このような、学生に限らず様々な人が、まちに学べる場づくりを目指しています。

その他、和歌山、今井町等で活動質得る学生の報告を予定しています。
現在、学生として活動中の方、また学生時代を振り返りながら、まちについて議論されたい方などのご参加をお待ちしております。

